

出雲圏域の現状と課題、今後の方向性

資料4-4

令和4年11月末時点		
	現状と課題	今後の方向性
出雲	<p>【取組内容】</p> <p>①医療・介護連携専門部会での検討</p> <p>②出雲市や各種機関・団体と連携した取組</p> <p>【現状と課題】</p> <p>①圏域全体の病床数は減少している。また、機能別にみると、急性期病床が減少、回復期病床が増加しており、地域医療構想に沿った医療機能分担と連携が進みつつある。今後もさらに検討を進めていく必要がある。</p> <p>②出雲市の中心部においては医療資源が充実しており、関係機関の連携により、在宅医療は一定程度供給できている。今後、訪問診療を受ける患者数の増加が見込まれる中で、特に市の周辺地域等においては、在宅医療の提供体制をさらに充実させるため、病院等を核とした体制整備を進める必要がある。</p> <p>③平田地区の在宅医療提供体制については、出雲市立総合医療センターによる訪問診療、訪問リハビリテーションの開始、さらに訪問看護ステーションを令和3年4月に開設される等、体制整備にむけた取組が進められている。</p>	<p>【目指す方向性】</p> <p>①島根大学病院・県立中央病院を中心とした高度急性期・急性期の機能分担、および他病院との連携について、引き続き検討していく。</p> <p>②在宅医療提供体制の構築を図る。</p> <p>【具体的な取組】</p> <p>①医療・介護連携専門部会を中心にした取組 ⇒毎年度第1回部会において、2025年の対応方針を全病院が同一の様式に整理して提示。それを踏まえて今後の取組を再検討する。</p> <p>②出雲市、多機関・団体と連携した取組 ⇒実態把握を進めながら、課題と方向性の共有化を図り、具体的な取組を展開する。</p>